

【聴音課題 上級 2】解説



1. 単旋律聴音課題

①、②、③休符…①は付点で音が伸びていますが、②は16分休符で一瞬音が切れています。③も同様ですが、難易度の高い課題では短い休符が使用されていることがあります。

④旋律の跳躍…2オクターブの跳躍です。音高を見失わないようにしましょう。

⑤臨時記号…旋律が上行しているので、Hisの音はCと書かず、Hに♯をつけるのが正解です。

⑥リズム…細かい音価によるリズムです。書き方に迷わないようにリズム練習をしっかり行いましょう。

2. 複旋律聴音課題

①転調…一見複雑な対位旋律課題となっていますが、基本的な転調の流れが音楽の骨格となっています。どの部分がどの調なのかなど、冷静に判断できるようにしましょう。

②臨時記号…半音で進行しており、♯、♭のどちらを使用するかの判断に迷いがちです。通常の記譜のルール通りに書けるようにしましょう。

③終止…Cに♯が付いており、ピカルディ終止となっています。

3. 和声聴音課題

①属九の和音…属九の和音の第2転回形の進行です。

②ドリア…Esが半音上がりことでドリアの和音となっています。

③転調…Bが半音上がり、下属調に転調しています。

④非和声音…上三声が主音上で解決を遅らせる終止です。